

みなさん、今春はタケノコを食されましたか。春の味覚の代表のひとつが、竹の中でも最初に生えるモウソウチクのタケノコ。4月初めまで続いた寒さの影響なのか去年が豊作だったための「裏年」なのか、当地ではごくわずかししか採れませんでした。

4月29日(木・祝)、世界遺産センター初のイベントとして「石見銀山・タケノコ掘り大作戦」を開催し、募集受付した40名の参加者がこのモウソウチクのタケノコ掘りをしました。

実施した竹林は大森町銀山地区。タケノコは少ないとの心配をよそに81本も採れビックリ。家族連れなど、遠くは広島県や浜田市から、3歳から70歳代までの幅広い年代層の参加があり、作業をしながら会話ははずみ楽しい半日となりました。



今回のイベントを実施した目的は、世界遺産登録地区内の遺跡と竹林景観を保全するため、市民参加型でタケノコ掘りを体験し、保全活動のすそ野を広げることです。

石見銀山の中核である銀山柵内の植生をみると、45%を占める広葉樹の林に、竹林(25%)やスギ・ヒノキ植林(18%)が点在しているようです。山林の管理が行き届かないと、さまざまな弊害が出てきます。竹林は、人が山に入り、タケノコを掘って食用にしたり、成竹を切って建材や竹細工の材料に使ったりすることが本当に少なくなったため、密生や範囲拡大の現象が出ています。また、竹の地下茎が遺跡の地下遺構に悪影響も与えています。

このような現状を参加者に伝えるとともに、竹林保全の活動をされている方を講師に招き、ワークショップの時間を設けました。切った竹を破碎し「竹チップ」をつくる実演やチップの利活用方法、また、テングス病や竹林景観の保全についての意見交換も行いました。

継続は力なり、と言います。今後も遺跡と景観を良好な形で引き継ぐための取り組みを、住民と一緒に続けたいと考えています。

【問】 石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183
ホームページ <http://ginzan.city.ohda.lg.jp/>

ちゃんぽし語録⑨

おじいさん (A) おばあさん (B)

【対訳】

A : そろそろ梅雨だいな
B : はあそがな時期になあだな
A : あんまり降ってごすりゃ、やれんことよ
B : なんぼ雨が降っても休まりゃせんけえな
A : そりゃそがだ。年を捨うても食べたりこくったりせにゃならんだけな
B : よーに梅雨になる前に、ねぎの溝さらいをせにゃならんぞな
A : そがだそがだ。ほいだが、今日は掃除したりこくったり忙しいけえ明日にしようや
B : 何するにそがに忙しいだあ?
A : そらこざこざがあるだに
B : そがだかな。・・・そが言やあ「こくったり」ゆうて何だかいな?
A : なに、「こくったり」!?そらー、あれ、あれだが……。
えーい、いなげなこというなや!
B : そがにどしならんでもいいだないかな!
A : はて……、「こくったり」ちゆうて何だっただかいな……?

(解説)

響きやリズムが面白い「～たり、こくったり」。「～たり」だけでも意味は通じるのですが、言葉の調子を整えたり、意味を強調する時に使います。とても柔らかい言い回しで、のどかな“おおだ”の雰囲気ピッタリ。聞くだけで気持ちや和らぎます。こうした言い回しや言葉のリズムは使わないと残っていきませんから、若い人にも積極的に方言を使ってほしいですね。

A : そろそろ梅雨ですね
B : もうそんな時期になりますね
A : たくさん雨が降ったりしたら、大変だ
B : いくら雨が降っても休むことはできませんからね
A : それはそうだよ。年をとっても食べていかなくちゃならないからね
B : 本格的に梅雨入りする前に、家のそばの溝掃除をしないとイケませんよ
A : それはそうだ。でも、今日は掃除などで忙しいから明日にしようよ
B : 何をするのにそんなに忙しいんですか?
A : そりゃあいろいろな用事があるんだよ
B : そうですか。・・・そう言えば「こくったり」というのは何でしたっけ?
A : なに、「こくったり」!?それは、あれ、あれだよ……。
えーい、おかしなことを言うんじゃない!
B : そんなに怒鳴らなくてもいいじゃないの!
A : はて……、「こくったり」って何だっただけ……?